



TOPPAN STORY

トッパン・ストーリー

Vol.

98

第176期 株主通信 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

CONTENTS

連結財務ハイライト	2
株主の皆さまへ	3
特集	4
TOPPAN 6months	6
セグメント別概況	8
株式情報・会社概要	10
株主メモ・Information	11

連結財務ハイライト

1株当たり株主配当金
〔年間〕

44円

(中間配当金 20円)
(期末配当金 24円)

年間配当金につきましては、
1株当たり44円となります。

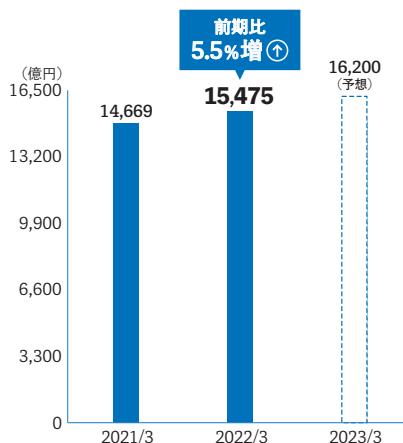
詳細は、IR情報ウェブサイトをご
覧ください。



<https://www.toppan.co.jp/ir/>

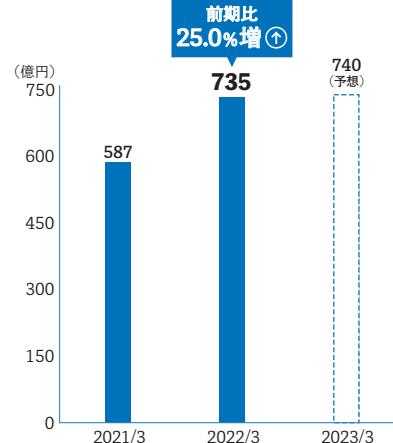
■売上高

15,475
億円



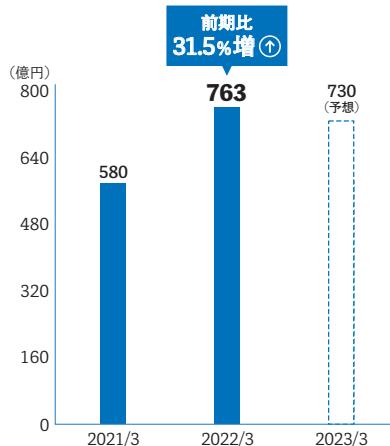
■営業利益

735
億円



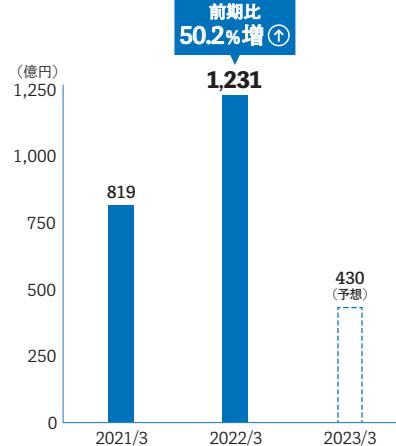
■経常利益

763
億円



■親会社株主に
帰属する当期純利益

1,231
億円



株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年3月期(第176期)のトッパングループの決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

2022年3月期におけるわが国経済は、持ち直しの動きもみられましたが、足元ではウクライナ情勢や金融資本市場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による個人消費や企業活動の停滞、デジタルシフトによるペーパーメディアの需要減少、また原材料価格の高騰など厳しい経営環境にありましたが、その一方で、生活様式の変化に伴うデジタル需要の増加や環境意識の高まりなど、新たな需要も生まれました。

このような環境のなかで当社グループは、昨年5月に公表した「トッパングループ 中期経営計画」のもと、収益力の向上をめざす「事業ポートフォリオの変革」、新たな成長を創出する「経営基盤の強化」、持続的な価値向上を支える「ESGへの取り組み深化」の3つを重点施策として位置づけ、取り組みを進めてまいりました。また、安定した財務基盤を確保しながら新たな収益モデルを早期確立すべく、新規事業では積極的に経営資源を投入し、既存事業ではさらなる技術開発強化やコスト削減など、競争優位性の確立をはかりました。さらにSDGsに関する課題についても、「TOPPAN SDGs STATEMENT」に基づく活動を積極的に推進してまいりました。

以上の結果、2022年3月期の連結売上高は前期比5.5%増の1兆5,475億円、連結営業利益は25.0%増の

735億円となりました。また、連結経常利益は31.5%増の763億円、親会社株主に帰属する当期純利益は50.2%増の1,231億円となりました。なお、期末配当金は1株当たり4円増配の24円とし、年間配当金は1株当たり44円とさせていただきます。

当社グループでは、これまでも市場・社会の変化をとらえた事業を展開してまいりました。これからもお客さまや社会のニーズを的確に把握し、技術やノウハウをグループ全体で共有することにより、事業変革を積極的に推進してまいります。

中期経営計画も2年目を迎え、今期は「基盤構築フェーズ」の総仕上げの年となります。引き続きさらなる事業変革と経営基盤強化をはかるとともに、“Digital & Sustainable Transformation”をキーコンセプトに、ワールドワイドで社会課題を解決するリーディングカンパニーとして、持続可能な社会の実現と企業価値向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年6月



代表取締役社長 磨 秀晴

「中期経営計画」の進捗と事業変革に向けた取り組み

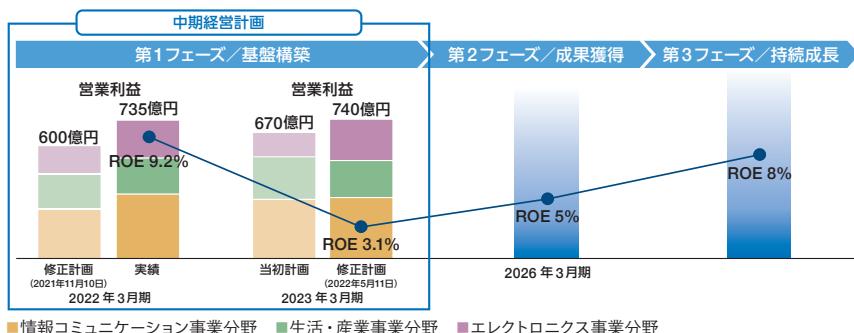
トッパンは、2022年3月期を初年度とした「中期経営計画」(2021年4月～2023年3月)を将来のさらなる成長に向けた第1フェーズと位置づけ、事業変革を進めています。また、“Digital & Sustainable Transformation”をキーコンセプトに、「DX(デジタル・トランスフォーメーション)」と「SX(サステナブル・トランスフォーメーション)」によってワールドワイドで社会課題を解決するリーディングカンパニーをめざし、持続可能な社会の実現と企業価値向上に取り組んでいます。

今回は、「中期経営計画」の進捗とともに、「DX」と「SX」で事業変革を加速させるトッパンの取り組みについてご紹介します。

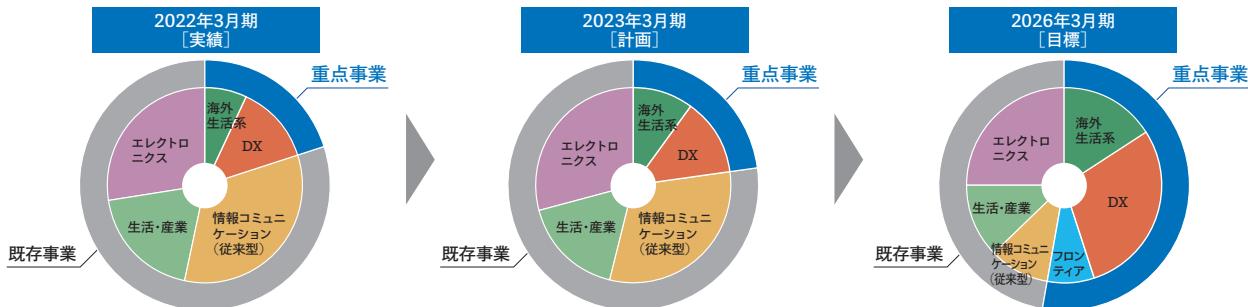
経営目標とめざすべき事業ポートフォリオ

本中期経営計画で定めた経営目標の達成に向けて、主に「DX」と「SX」の伸長により、重点事業の営業利益構成比は順調に拡大しています。目標とする2026年3月期の営業利益構成(重点事業で全体の50%以上、特にDX事業で3割を占める)の実現をめざし、これからも「DX」「SX」を軸に事業ポートフォリオの変革を加速させていきます。

■本中期経営計画の位置づけと経営目標ロードマップ



■事業ポートフォリオの変革(営業利益構成)



営業利益構成として、2026年3月期には、重点事業で全体の50%以上、特にDX事業で3割を占める構成へと事業ポートフォリオの変革をめざす。

DX事業の推進

DX

DX事業は、「マーケティングDX」「製造・流通DX」「ハイブリッドBPO」「セキュアビジネス」「デジタルコンテンツ」の5つに分類され、それぞれで戦略的に取り組みを加速させています。また、完全子会社化したトッパンフォームズとのシナジー創出により、特に「ハイブリッドBPO」や「セキュアビジネス」関連において、その効果を発揮するとともに、さらなる事業強化をはかっていきます。また、DX事業の強化に向けては、DX人財の拡充にも積極的に取り組んでいます。

Erhoeht-X™

DX事業のカテゴリ別戦略

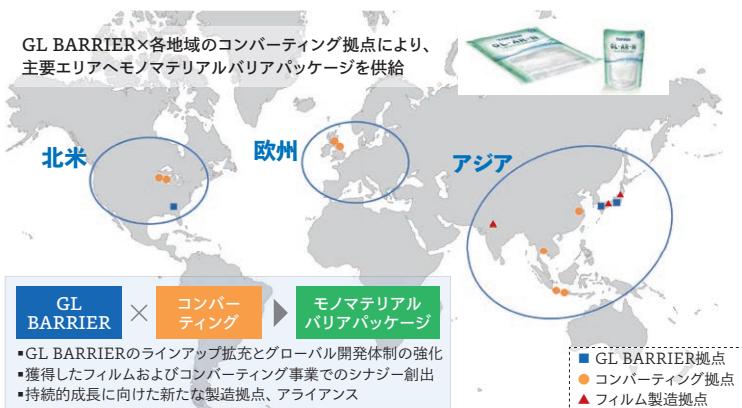
マーケティングDX 顧客ニーズに適した伴走型マーケティング	デジタルマーケティング	CRMとマーケティングテクノロジーの融合により、流通・メーカーに向けた個客中心のマーケティング活動を展開
	店頭デジタル化	OMOプロモーションによるデータ駆動型店頭DXの推進
製造・流通DX 顧客の製造・流通の総合的デジタル化支援	製造DX	「NAVINECT(ナビネクト)」による製造工程デジタル化のトータル支援
	流通DX	業界標準商品情報のデータベースと「PROMO CORE(プロモコア)」による販促情報の一元管理、および各媒体への展開
ハイブリッドBPO デジタル×オペレーションのハイブリッドBPOサービス	行政DX	標準化されたBPOサービスの提供による自治体行政事務の受託
	金融DX	金融機関の業務プロセスに応じたDX×BPOサービスの提供
セキュアビジネス セキュリティ性を武器に多彩なサービスを展開	国内セキュア	セキュリティ、決済、通信インフラ領域での事業拡大
	海外セキュア	グローバルリソースの活用による政府、決済、IoT関連のビジネス展開
デジタルコンテンツ 各種デジタルコンテンツ提供サービス		電子書籍、高精細映像、VR、メタバース、教育ICTなど各種デジタルコンテンツの供給

生活系事業の海外展開

SX

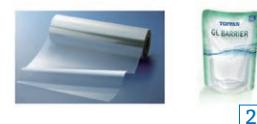
トッパンは、パッケージや建装材などの生活系事業において、海外展開を加速させています。特にパッケージ事業においては、トッパンが開発した世界最高水準のバリア性能を持つ透明バリアフィルム「GL BARRIER」を軸に、環境に配慮したサステナブルパッケージをグローバルに展開していきます。各地域のコンバーティング拠点を活用し、モノマテリアルバリアパッケージを中心としたサステナブルパッケージを北米、欧州、アジアといった主要エリアに供給し、さらなる事業拡大をはかっていきます。

パッケージ事業の海外戦略



2021 / 10 → 2022 / 3月

- 10月 7日 マイクロ流路チップの大量生産・低コスト化技術を開発 1
- 10月 11日 One to One Webサイト構築ツール「SALAD-BAR®」を開発
- 10月 27日 バリアパッケージで2020年度 63,000トンのCO₂排出量削減 2 ESG
- 10月 29日 「トッパン・スポーツサイエンスラボ」開設
- 11月 12日 「TOPPAN DIGITAL SANDBOX®」を開発 3
- 11月 15日 「DJSI World」構成銘柄に5年連続で選定 ESG
- 11月 29日 「トッパングループ人権方針」を策定 ESG
- 11月 30日 地方自治体向けに「Hybrid-BPO™」の取り組みを開始
- 12月 2日 バーチャルショッピングモールアプリ「メタパ™」を開発 4
- 12月 8日 CDP「気候変動」において最高評価「Aリスト」に選定 ESG

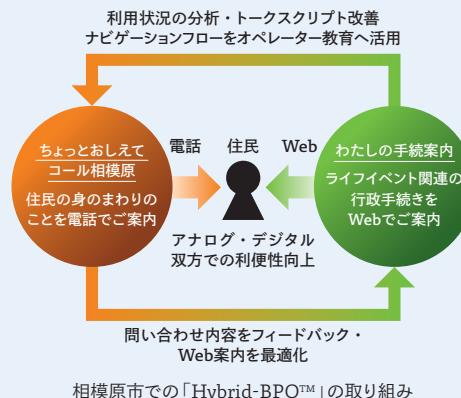


2021年11月30日発表

地方自治体向けに「Hybrid-BPO™」の取り組みを開始

当社は、成長領域とする次世代型BPO事業において、アナログ技術とデジタル技術を掛け合わせた当社独自の「Hybrid-BPO™」を地方自治体向けに提供開始します。本取り組みの事例として、神奈川県相模原市で2011年より運用しているコールセンター「ちょっとおしえてコール相模原」と行政手続きデジタルナビゲーション・システム「わたしの手続案内」を掛け合わせたサービスを2021年11月より開始します。

行政サービスのデジタル・トランスフォーメーション(DX)への注目度が高まるなか、今般の相模原市の取り組みを「Hybrid-BPO™」の起点として行政に広く提供することにより、社会やお客さまのデジタル変革を推進していきます。



ESG 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) 関連の取り組み

12月16日 カード決済と連動した店舗集客施策を実現する
「トッパンCLOサービス」の試験提供開始

1月12日 浦和レッズと2022シーズンよりトップパートナー契約で合意

1月31日 「トッパングループ サステナブル調達ガイドライン」を公表 **ESG**

2月 2日 インドのフィルムメーカーを連結子会社化 **5**

2月10日 「CDP2021 サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定 **ESG**

2月18日 アバターの真正性を証明する管理基盤「AVATECT™」を開発

2月21日 ビジネス向けメタバースサービス基盤「MiraVerse®」を開発

2月28日 産官学協働で複合プラスチックのケミカルリサイクル技術の開発と実用化を加速 **ESG**

3月10日 企業向け請求代行サービスを提供開始

3月22日 3年連続で「なでしこ銘柄」に選定 **6** **ESG**



5



6

2022年2月21日発表

ビジネス向けメタバースサービス基盤「MiraVerse®」を開発

当社は、現実空間を仮想空間へ正確に取り込み、その中で商談や協調作業などのビジネスコミュニケーションが可能なメタバースサービス基盤「MiraVerse®(ミラバース)」を2022年4月より提供開始します。

「MiraVerse®」は、メタバース内に現実の色や質感を忠実に再現する真正性を追求します。同時に、データ管理機能や改ざん対策に加え、自身の分身となるアバターの本人認証と安全なコミュニケーションをワンストップで提供するサービス基盤です。

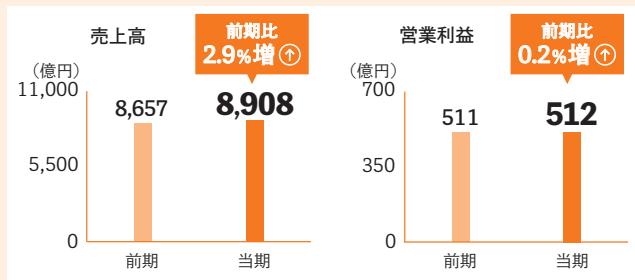
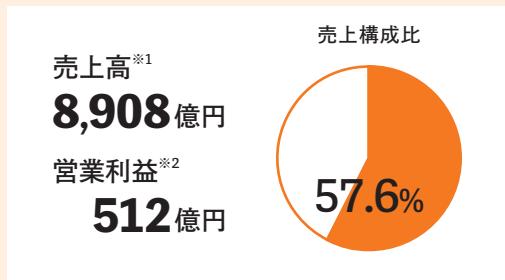
当社は、フォトリアル・高臨場感のメタバースによる新たなビジネス機会の創出や、新しいコミュニケーションの場の提供を通じ、誰もが参加しやすく安全・安心で持続可能な社会の実現をめざします。



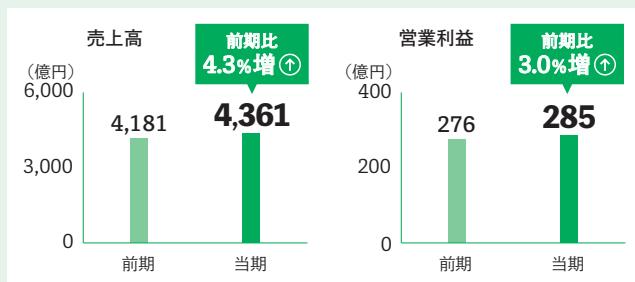
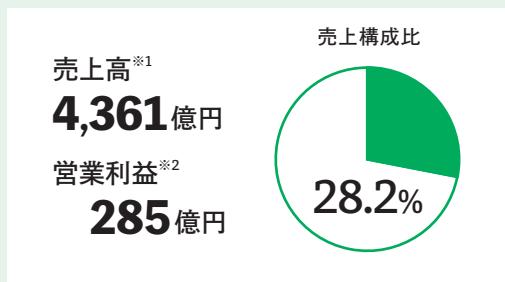
「MiraVerse®」を使ったバーチャル住宅展示場イメージ (開発中)

セグメント別概況

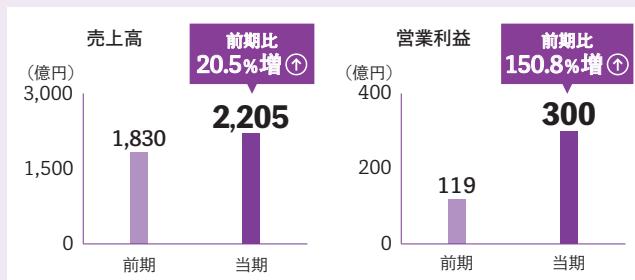
■ 情報コミュニケーション事業分野



■ 生活・産業事業分野



■ エレクトロニクス事業分野



※1 外部顧客への売上高 ※2 全社費用調整前の数値で計算しています。

セキュア関連は、セキュアソリューションは好調でしたが、ICカードは減少しました。ビジネスフォームは前年並み、データ・プリント・サービスはわずかに減収となりました。コンテンツ・マーケティング関連は、商業印刷が減少したものの、ゲームカードなどの出版印刷やコンテンツ・マーケティングソリューションの増加、前期に新型コロナウイルス感染拡大の影響で急減したSP関連ツールの反動により、増収となりました。BPO関連は、企業・自治体等のアウトソーシング需要で好調に推移しました。以上の結果、情報コミュニケーション事業分野全体では前期比で増収増益となりました。



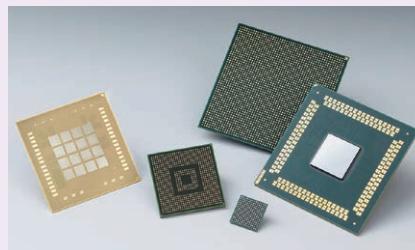
BPO

パッケージ関連は、軟包装材は国内でトイレタリー・外食向けの需要が回復傾向にあるほか、海外ではインドネシアを中心に販売が拡大し、増収となりました。紙器も、海外での売上が増加し、増収となりました。建装材関連は、国内は住宅市場の緩やかな回復や、高意匠・高機能化粧シートの販売拡大により、増収となりました。海外は、巣ごもり需要の拡大が落ち着きつつある一方、インテリア向け化粧シートの販売が好調に推移し、増収となりました。以上の結果、生活・産業事業分野全体では、前期比で増収増益となりました。



建装材

半導体関連は、フォトマスクは5G・AIを背景とした需要拡大に加え、データセンターや車載向けなど幅広い用途で半導体需要が拡大し、好調に推移しました。FC-BGA基板も高付加価値品を取り込み、増収となりました。ディスプレイ関連は、カラーフィルタは減収でしたが、反射防止フィルムはノートPC、モニター向け需要の拡大で好調に推移しました。中小型TFT液晶パネルは、車載・産業機器向けの需要回復で増収となりました。以上の結果、エレクトロニクス事業分野全体では、前期比で増収増益となりました。



FC-BGA基板

株式情報

2022年3月31日現在

発行済株式数 349,706,240株
株主数 36,554名

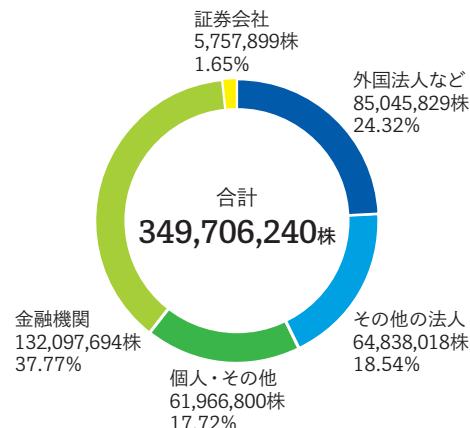
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	57,154	17.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	17,193	5.12
日本生命保険相互会社	15,002	4.47
東洋インキSCホールディングス株式会社	9,492	2.83
第一生命保険株式会社	9,154	2.73
従業員持株会	6,895	2.05
株式会社講談社	6,710	2.00
凸版印刷取引先持株会	6,002	1.79
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	4,545	1.35
エスエスピーティーシー クライアント オムニバス アカウント	4,168	1.24

※自己株式は、上記大株主から除外しています。

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。

株式分布状況(所有者別)



※自己株式13,782千株は「個人・その他」に含まれています。

会社概要

2022年6月29日現在

社名 凸版印刷株式会社
本社事務所 〒112-8531
東京都文京区水道1-3-3
電話：03-3835-5111(代表)
URL：https://www.toppan.co.jp/
会社設立 明治33年1月17日
株式会社に組織変更 明治41年6月4日
資本金 104,986,430,314円
従業員数 連結 54,336名

取締役および監査役

代表取締役社長	金子 眞 吾	社外取締役	野間 省 伸
代表取締役社長	鷹 秀 晴	社外取締役	遠山 亮 子
代表取締役副社長執行役員	大久保 伸一	社外取締役	中林 美 恵 子
取締役専務執行役員	坂井 和 則	常任監査役	萩原 正 敏
取締役常務執行役員	黒部 隆	監査役	久保 蘭 到
取締役執行役員	真島 宏 徳	社外監査役	垣内 恵 子
		社外監査役	笠間 治 雄
		社外監査役	河戸 光 彦

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	1単元の株式の数	100株
定時株主総会	毎年6月	公告の方法	電子公告により、当社ウェブサイト (https://www.toppa.co.jp/)に掲載 いたします。 なお、やむを得ない事由により電子公告 によることができない場合は、官報に掲載 いたします。
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。	上場金融商品取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	証券コード	7911
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
・お問い合わせ先	TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)		
・郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号		

〈株式に関するお手続きのご案内〉

お手続き・ご照会の内容	対象	お問い合わせ先
ご住所・お名前などの変更 単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受取方法・振込先のご変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ	証券会社に口座を開設されている株主さま 証券会社に口座を開設されていない株主さま(特別口座)	口座を開設されている証券会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送物の発送などに関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	すべての株主さま	

Information

▶ 印刷博物館からのお知らせ

予告 地下1階展示室企画展「地図と印刷」

日本で地図の印刷出版は近世に幕を開け、多様な地図が登場しました。本展では日本の近世を中心に地図づくりにおける印刷と人々のかかわりを探ります。



会期 2022年9月17日(土)～12月11日(日)
開館時間 10:00～18:00

休館日 毎週月曜日(ただし、9月19日、10月10日は開館)、9月20日(火)、10月11日(火)
※新型コロナウイルス感染症対策として、当面の間、入場者数の制限および入館事前予約制を導入しています。詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

開催中の
企画展示

- P&Pギャラリー「グラフィックトライアル 2022-CHANGE-」
 - 地下1階プロローグ ミニ企画展「マインツ・インパルス」
- 会期：いずれも開催中～2022年7月24日(日)

印刷博物館ウェブサイトURL <https://www.printing-museum.org>

▶ 株主優待カレンダーについて

当社では、2022年3月末の時点で5単元株(500株)以上をお持ちの方でお申し込みをされた株主の皆さまへ、株主優待カレンダーを進呈しています。今回は「現代の芸術 日本絵画-福田平八郎」と題し、鋭い観察眼のもと、対象の持つ美しさを抽出した表現が特徴的な福田平八郎の作品をお楽しみいただけるカレンダーを予定しています。

お申し込みいただいた株主さまには、12月上旬頃までにお手元に届くよう発送する予定です。カレンダーをご希望の方は、「定時株主総会招集ご通知」に同封いたしました「株主優待カレンダー申込はがき」に必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。

申込締切 2022年9月30日(金) 必着



2023年版株主優待カレンダー
(デザインは変更になる場合があります。)

表紙について | オリジナル高品質4K映像コンテンツ「Meet Japan!」より

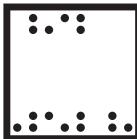
美しすぎるブナ林「美人林」(新潟県十日町市)

自社の映像クリエイターが撮影した日本各地の美しい風景等のオリジナル高品質4K映像コンテンツ「Meet Japan!」より、今号の表紙は美しい立ち姿からその名がついた、新潟県の誇るブナ林「美人林」の緑鮮やかな初夏の風景です。



表紙の映像を
ぜひ「AReader」でご覧ください。

スマートフォンなどを使って、「App Store」「Google Playストア」でアプリ「AReader」を検索し、ダウンロード（無料）。「AReader」を起動し、右記のARマーカにかざすと表紙に関連する映像がご覧いただけます。



※本画像は、高品質4K映像 (Printeractive 4K) から切り出したものです。

4K Meet Japan!
PRINTERACTIVE

凸版印刷株式会社

<https://www.toppan.co.jp/>

